

令和3年度 八戸高専 自己点検・評価 外部評価結果

評価
 5: 期待を上回って実施している
 4: 十分に実施している
 3: 実施している
 2: 十分には実施していない
 1: 実施していない

基準	No.	視点	観点	No.	根拠資料	状況	自己評価	改善点	外部評価	コメント
1. 教育の内部質保証システム	1-A	自己点検評価の実施と改善	(1) 自己点検・評価の基準や方法に関する継続的の見直しが行われているか。	1-A-1-1	令和3年度第1回教育プログラム委員会記録	自己点検評価の規程等について審議した結果、R3年度においても現行基準を維持することとした。卒業生や進路先へのアンケートは3年ごとに実施することとし、次回はR5年度実施することとした。	5		4.4	<p>学生の自主探究活動を充実させるためにカリキュラムに工夫を重ねる一方で、低学年の基礎学力の向上を重視した取り組みをしている。</p> <p>基礎学力不足の原因を分析し、改善策を考える必要がある。</p> <p>学生や保護者が意見を述べられる仕組みが構築されており、寄せられた要望に対して、誠実に対応していると感じる。また、自主探究について年間を通じて行えるように、という要望に対しては、実際に時間割や年間予定を変更して対応しており、要望が改善に結びついていると評価できる。</p> <p>内部質保証が適切に行われていると判断します。</p> <p>学生や保護者からの意見聴取が行われており、これらを行事予定に反映させるなどの工夫がなされていることが評価できます。</p> <p>成績不振学生のケアについては、遠隔授業の経験を生かして録画教材を活用するなど、教員の負担も考慮しながら改善を進めていくことも有効ではないでしょうか。</p> <p>学生や保護者の意見・要望に誠意ある対応を行っている。内部質保証の仕組みが構築され、PDCAサイクルが機能していると思われる。</p>
				1-A-2-1	R3 学生の声への投書件数	・学生の声への投書があり、学校側からの回答は掲示で行っている。 ・学校施設の改善に関する要望も可能な範囲で対応し、R3は教室のエアコン設置を行った。 ・保護者懇談会を通じて出された要望等は、取りまとめて教員会議で配布し、全教員で共有している。	4			
			1-A-2-2	R3 学生の声への回答	・保護者懇談会を通じて出された要望等は、取りまとめて教員会議で配布し、全教員で共有している。					
			1-A-2-3	保護者からの学校への要望・回答	・保護者懇談会で寄せられた学校への要望事項をまとめ回答を公表している。					
			1-A-2-4	保護者からの学校への要望・回答	・卒業後5年程度の卒業生、および過去5年の就職先企業へのアンケートを3年に1度、実施し、結果を自己点検・評価に反映している。					
			1-A-2-5	保護者からの学校への要望・回答	・保護者懇談会で寄せられた学校への要望事項をまとめ回答を公表している。					
			1-A-2-6	保護者の声設置案内(高専だより160号)	・卒業後5年程度の卒業生、および過去5年の就職先企業へのアンケートを3年に1度、実施し、結果を自己点検・評価に反映している。					
			1-A-2-7	卒業生・修了生のアンケート結果(2020年度実施)	・卒業後5年程度の卒業生、および過去5年の就職先企業へのアンケートを3年に1度、実施し、結果を自己点検・評価に反映している。					
			1-A-2-8	企業・団体等のアンケート結果(2020年度実施)	・卒業後5年程度の卒業生、および過去5年の就職先企業へのアンケートを3年に1度、実施し、結果を自己点検・評価に反映している。					
					(2) 学生、保護者、教員、卒業生、企業等の意見聴取が行われ、自己点検評価に反映されているか。	1-A-3-1-1	令和3年度行事予定表	自主探究が年間を通じて行えるようにしてほしいとの要望を受け、R2年度から自主探究の時間を1学期に集中させるではなく、年間を通して、主体性への気づきの機会、思考の時間を増やすように年間計画を立てた。年間行事予定表に自主探究ファンターアワーを設定したほか、1分プレゼンを行うなど自主探究活動の活性化に努めた。 春、夏、秋学期は授業や実験実習を中心とした時間割編成にするとともに放課後等を利用して自主探究活動の指導を行っている。また、冬学期は午前中に授業を終え、自主探究活動や成果とりまとめのための時間を多めに取る時間割構成とした。 冬学期の授業時間数が少ないことが幸いして、R4年1月の急激な新型コロナウイルス感染拡大に伴い、授業の前倒し並びに遠隔授業の実施によって感染リスクを抑えながら、年度内に必要な授業を実施することが出来た。		
			(3) 結果が改善に結びついているか。	1-A-3-1-2	令和3年度時間割	早期に成績が不振な学生を把握し、放課後にセミナー形式で対応できるよう基礎学習セミナーの要項が更新された。その結果、春学期基礎数学Aの不合格学生は、例年より減少した。				
				1-A-3-2	基礎学習セミナー実施要項	低学年基礎科目の強化を目的にR2年度入学者以降を対象としたカリキュラムの改訂が行われた。				
					1-A-3-3	R2年度からカリキュラム改訂が行われたことがわかる資料				
	1-B	年度計画・行動計画の実施	(1) 年度計画の実施状況が点検されているか。	1-B-1-1	R2年度年度計画実績報告	年度計画の各項目に対する実績を取りまとめ、高専機構本部へ報告するとともに運営委員会での確認を経て教員会議資料として配付し、全教員に周知している。	5			
			(2) 各委員会等の行動計画に対する実施状況が点検されているか。	1-B-1-2	R2年度行動計画取組結果報告書	各組織において行動計画に対する実績を取りまとめている。運営委員会での確認を経て、教員会議資料として配付し、全教員に周知している。また内部データに関する部分を除きホームページに公開している。	5			
1-C		3ポリシーの見直し	(1) 3ポリシーが社会の状況の変化等に応じて適宜見直されているか。	1-C-1-1	令和2年度教育プログラム委員会記録	各コースの教育内容に応じたDPの設定が必要との判断により、教育プログラム委員会において基本方針が検討されDP,OPを作成した。これを基に教育プログラム計画委員会がカリキュラムマップ、カリキュラムツリー等を作成し、運営委員会です承された。DP,OP並びにAPはホームページ等で公表している。	5			
				1-C-1-2	令和2年度教育プログラム計画委員会記録					
				1-C-1-3	DP, OPの変更がわかる資料					
2. 教育組織・教員・教育支援者等		2-A	教員の配置	(1) 準学士課程・専攻科課程における一般、専門の教員が適切に配置されているか。	2-A-1-1	教員一覧(2021学校要覧)	準学士課程・専攻科課程の一般科目、専門科目を担当する教員が、専門分野ごとに配置されている。外国籍の教員を新規に採用している。	4	4.1	
	2-A-1-2				在籍教員数(2021学校要覧)					
	2-B	教員の採用・昇任	(1) 教員の採用や昇任に関する基準が適切に運用されているか。	2-B-1-1	教員選考規則	教員の採用や昇任に関する基準が定められている。教育・研究業績等の評価のほか、二次選考面接では模擬授業や英語での研究内容説明を実施するなど、基準が適切に運用されている。	4			
				2-B-1-2	教員の昇任基準					
				2-B-1-3	教員選考一覧表書式					
				2-B-1-4	教員採用二次選考会議開催通知例					
	2-C	FD	(1) FD活動が実施され、改善に結びついているか。	2-C-1-1	令和2年度教員対象のFD・研修等の実施・参加状況	FDの活性化を図るため、各委員会等の行動計画提出時に、FDの開催計画についても記載できるようにしている。遠隔授業の実施など従来経験のない授業方法においてFDが極めて有効に機能した。	4			
				2-C-1-2	令和2年度事務職員・技術職員対象のSD・研修等の実施・参加状況					
				2-C-1-3	令和2年度行動計画					
	3-A	施設・設備	(1) 学校の施設・設備が適切な安全・衛生管理の下に活用されているか。	3-A-1-1	安全衛生専門委員会巡視案内・報告	教育・研究に必要な設備については所管の係において使用簿や鍵の接受が行われており、適切に管理されている。また、安全・衛生管理についても毎月、安全衛生委員会において点検が実施されている。	5			
3-A-1-2				主要設備使用簿(稼働状況)						
3-A-1-3				教室等利用状況						
3-A-1-4				体育施設等鍵貸出簿						
3-A-1-5				会議室・応接室利用状況(2021年12月)						
(2) ICT環境が十分なセキュリティ管理の下に整備され、活用されているか。			3-A-2-1	サイバーセキュリティポリシー基本方針	授業用にパソコン室、時間外は図書室のパソコンが利用でき、無線LAN環境が学内に提供されている。これらの管理は利用簿により管理される。セキュリティーについては情報セキュリティーポリシーが制定され、運用されており、適切と評価できる	5				
			3-A-2-2	サイバーセキュリティポリシー対策規則						
			3-A-2-3	情報セキュリティー管理規程						
			3-A-2-4	無線LAN学外者利用要項						
			3-A-2-5	パソコン室利用状況、図書館PC利用状況						
(3) 図書、学術雑誌、視聴覚資料等が系統的に収集、整理され、有効に活用されているか。			3-A-3-1	図書館蔵書状況	図書委員会において系統的に収集が行われている。また、毎年、各種資料の貸出数・入館数を統計的に把握している。	4				
			3-A-3-2	図書貸し出し数						
			3-A-3-3	図書館入館者数						

3. 学習環境 及び学生支援 等	3-B 学生支援	(1) 新入生(編入、留学含む)に対し、履修指導、設備等利用ガイド ス等が実施されているか。	3-B-1-1	始業式実施要領	本科1年や3年からの留学生、4年編入 学生それぞれにきめ細かく指導を行っ ている。また、留学生の科目履修につ いては担任と事務と教務によるチェッ クが行われている。	5		
			3-B-1-2	始業式日程表				
			3-B-1-3	入学者研修会実施要領				
			3-B-1-4	編入学生オリエンテーション実施要 項				
			3-B-1-5	留学生の履修科目表				
		(2) 学生の自主的学習に対する相談、助言体制が機能しているか。	3-B-2-1	オフィスアワー一覧	オフィスアワーやメンター制度、数学基礎 セミナーやグローバルラーニングセン ターによる英語補講などの多様なプロ グラムが用意されている。さらに留 学生に対しては、チューター制度を 用意している。また、学級担任による 個別面談や進路支援担当による進路 相談会など充実していると評価でき る。	5		
			3-B-2-2	メンター制度実施要項				
			3-B-2-3	メンター制度利用状況				
			3-B-2-4	メンター制度				
			3-B-2-5	業務実施確認表(学習支援メンター)				
			3-B-2-6	数学・物理寺子屋開催要項				
			3-B-2-7	学級担任の個別面談状況				
			3-B-2-8	基礎学習セミナー実施要項				
			3-B-2-9	グローバルラーニングセンター参加 者名簿				
			3-B-2-10	グローバルラーニングセンター活動 記録				
		(3) 留学生、編入生、障害のある学生への学習・生活支援が行われ ているか。	3-B-3-1	外国人留学生規則	編入学生に対しては入学前に添削学習 指導を行うなどの支援が行われてい る。国際交流事業「タイ政府奨学金留 学生受入れ事業」への対応として、特 命教員(日本語教員・理系サポート教 員)を1名ずつ配置し、低学年留 学生の日本語授業・科目授業の支 援を継続的に実施している。また、 このような日常的支援に加え、R3 年度は1年に1～2回の頻度で「科 目担当者打合せ」を行い、科目担当 教員・担任教員・教務委員・国際交 流センター委員等、関係教員間で 意見交換を行っている。さらに、 R3年度には「低学年留學生WG」 を発足し、上記の学習・生活支 援のほか、特にタイ政府奨学金留 学生を想定した4か年日本語学習 プログラム案を編成した。 ・留学生にはチューターを配置し ている。	4		時期を見て留学生とチューター の相性を確認する必要がある。ま た、チューター学生が自分の勉学に 十分に取り組んでいるか、サポ ートに余力があるかどうか、6ヶ 月を目安に確認をとり、柔軟に 対応できるように体制を整える。
			3-B-3-2	タイ留学生の科目担当者情報交換 会				
			3-B-3-3	タイ留学生日本語学習プログラム				
			3-B-3-4	タイ留学生チューター業務実施報 告				
		(4) 学生の経済面や健康面に対する相談体制は機能しているか。	3-B-4-1	学生相談・サポート体制	精神科医や臨床心理士の相談も受け られる体制を整えた相談室や保健室 が整備され利用されている。	5		
			3-B-4-2	相談室利用件数				
			3-B-4-3	保健室来室者数				
			3-B-4-4	奨学金利用状況				
		(5) キャリア教育、進路指導体制は機能しているか。	3-B-5-1	キャリア教育行事学年別実績	入学直後のキャリア説明に始まり、2 年、3年生でそれぞれ進路説明会を 実施している。4年生ではインター ンシップ準備講習、就職活動準備 講習、進学希望者面談など充実し たプログラムを用意している。さ らに、就職に関しては求人システ ムがあり、学生が自由に閲覧でき ようになっている。また、進路マ ニュアルが整備されており、学生 の参考になっている。	5		
			3-B-5-2	4学年三者面談実施状況				
			3-B-5-3	就職・進学関係講演会				
			3-B-5-4	編入学試験結果報告資料				
			3-B-5-5	編入報告会ポスター				
3-B-5-6	就職情報検索システム topペ ージ							
(6) 課外活動等に対する支援体制は有効に機能しているか。	3-B-6-1	顧問一覧	全ての教員が課外活動の顧問を務 めており、学生の課外活動に対す る支援が有効に機能している。ま た、各種大会に参加している一 方、課外活動指導員など外部人材 を積極的に活用した支援体制が 構築されている。	5				
	3-B-6-2	各種大会参加状況(各種コンテス トR2年度実績)						
	3-B-6-3	各種大会参加状況(スポーツR1年 度実績)						
	3-B-6-4	課外活動指導員実績一覧						
(7) 学寮が生活及び勉学の場として整備され、有効に機能している か。	3-B-7-1	R3秋・冬部屋(居室)配置図	学寮は、女子棟(2)、男子棟(2)あり、 浴場、洗濯室、補食室、談話室、自 習室等が配置されている。点呼や、 食事時間、学習時間、消灯時間等 の目録が定められており、生活及 び勉学の場として整備されている。 平成31年に国際寮としてE棟を改 修し、新国際寮として令和3年度 にI棟を新築した。令和4年度には N棟が混住型国際寮として追加さ れる。これに伴い、運営・管理体制 の大幅見直しを行った。今年度は 寮生数は294(男子202、女子92) 名である。令和2年、3年度は新 型コロナウイルス感染症対策のた め、談話室などの利用を不可とし、 上級生による学習支援も通常ほど できなかった。感染防止のため談 話室を閉鎖したため、談話室で行 われていた寮生寺子屋も実施でき なかった。代替的措置として、と りわけ令和3年4、5月に指導寮 生による学習時間中の巡回を強化 した。これに関しては、寺子屋な どの従来対象外であった高学年男 子フロアもフロア長が巡回すること で範囲を拡大した。	4		令和4年4月からI棟とE棟の混 住型国際寮で新しい寮の運営体制 が試行され、N棟が新築される令 和4年9月からは全寮で展開する 予定である。施設として、老朽化 しているW棟の雨漏り対策等、各 所にて修繕が必要である。		
	3-B-7-2	学寮日課表						
	3-B-7-3	令和3年度寮生数調						
	3-B-7-4	R2行動計画取組結果(寮務委員 会)						
	3-B-7-5	R3自習室利用状況						
4-A 財務	(1) 学校の目的に沿った教育研究活動を遂行できるだけの財務基盤 を有しているか。	4-A-1-1	財務諸表(財務三表(過去5年間))	本校の目的に沿った教育研究活動 を将来にわたって適切かつ安定し て遂行するために必要な校地、校 舎等の資産を保有し、運営費交付 金、授業料、入学金等の経常的な 収入を確保している。	4			
		4-A-1-2	施設の概要(2021学校要覧)					
		4-A-1-3	経常的収入受入状況(過去5年間)					
	(2) 学校の目的を達成するための活動の財務上の基盤として、適切 な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。	4-A-2-1	予算関連計画(令和3年度)	予算に係る計画については、企画 室会議ならびに運営委員会にお いて学内予算配分方針(案)を審議 のうえ決定し、その方針により適 正に配分している。また、教員会 議において報告するとともに会 議資料等についても学内グルー プウェアの掲示板に掲示してい る。	4			
		4-A-2-2	令和3年度学内予算配分方針(案)					
		4-A-2-3	令和3年度学内予算配分方針					
	(3) 学校の目的を達成するため、教育研究活動に対する資源配 分を、学校として適切に行う体制が整備され、実際の予算配分が行 われているか。	4-A-3-1	令和3年度学内予算書(案)	高専機構から通知される事業年 度ごとの収支予算額に基づき、学 内予算配分方針により執行計画を 策定し、企画室会議ならびに運営 委員会にて審議・承認を得ること としている。また、校長裁量経費 を設け、より柔軟な予算執行を 図っている。なお、執行計画につ いては、教員会議において報告す るとともに会議資料等についても 学内グループウェアの掲示板に 掲示している。	4			
		4-A-3-2	校長裁量経費内訳書					
		4-A-3-3	予算関連規程					
		4-A-3-4	予算の審議					
		4-A-3-5	令和3年度学内予算書					
	(4) 学校を設置する法人の財務諸表等が適切な形で公表されてい るか。また、財務に係る監査等が適正に行われているか。	4-A-4-1	決算関連規程	高専機構として、ひとつの財務 会計システムを構築しており、年 度末決算後、このシステムにより 財務諸表等を作成し、高専機構 ホームページで公開している。ま た、監査関係については、平成 26年度に会計検査院による会計 実施検査を、令和2年度に監事監 査と高専機構監査室による内部 監査を受検している。また、他 高専の職員による高専相互会計 内部監査、学内の会計内部監査 については毎年度実施している。	4			
		4-A-4-2	財務諸表等(高専機構)					
4-A-4-3		会計内部監査規則						
4-A-4-4		各種監査等報告書						

4. 財務基盤 及び管理運営	4-B 管理運営	(1) 管理運営の諸規程が整備され、各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。	4-B-1-1	組織・運営関係規則一覧(規則目次)	管理運営の諸規程は、八戸高専組織運営規則を基本に、各種委員会等規則を制定している。また、各委員会においては定例会議または必要に応じて開催しており、事務職員が委員や幹事として参画している。	4	4.1														
			4-B-1-2	組織図(2021学校要覧)																	
			4-B-1-3	令和3年度校務分担表																	
			4-B-1-4	組織運営規則																	
			4-B-1-5	事務組織規則																	
			4-B-1-6	事務分掌規則																	
			4-B-1-7	令和2年度学内主要会議開催状況一覧																	
			4-B-1-8	令和2年度学内主要会議議事録																	
		(2) 危機管理を含む安全管理体制が整備されているか。	4-B-2-1	危機管理規則	八戸高専危機管理規則を制定し危機管理に係る体制を整備している。また、危機管理マニュアルを策定している。新型コロナウイルスへの対応として、新型コロナウイルス感染症対策指針を策定し、学生、保護者、教職員に配布する等して感染拡大防止に努めている。	4															
			4-B-2-2	危機管理マニュアル																	
			4-B-2-3	各種訓練・講習会等実施報告書																	
			4-B-2-4	新型コロナウイルス感染症対策指針																	
			4-B-2-5	新型コロナ行動指針【教職員版】																	
		(3) 外部資金を積極的に受入れる取組が行われているか。	4-B-3-1	外部資金受入状況(過去5年間)	毎月の運営委員会と教員会議および校内掲示板(ガールーン)において外部資金公募情報および外部資金受入状況を周知するとともに、外部資金の積極的な獲得を依頼している。	4															
			4-B-3-2	外部資金公募情報																	
	4-B-3-3		外部資金受入決定状況																		
	(4) 外部の教育資源が積極的に活用されているか。	4-B-4-1	協定締結状況(2021学校要覧)	本校では学校の目的を達成するために、国内外の高等教育機関や高等学校、地域企業、同窓会など、多くの外部教育資源を積極的に活用している。	4																
		4-B-4-2	地域との連携																		
	(5) 管理運営のための組織及び事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組が組織的に行われているか。	4-B-5-1	独立行政法人国立高等専門学校機構職員人事評価実施要領	高専機構本部が実施する研修会のほか、国立大学法人等の研修、国、地方自治体等が主催する研修等に職員を派遣し、職務遂行能力の向上を図っている。また、職員の能力及び業務遂行意欲の向上、組織の業務運営の一層の活性化を図ることを目的に、毎年度職員人事評価を実施している。	4																
		4-B-5-2	東北地区国立高等専門学校事務職員合同研修実施要項																		
4-B-5-3		令和2年度各種研修等受講者一覧																			
4-C 情報の提供	(1) 学校における教育研究活動等の状況についての情報が公表されているか。	4-C-1-1	八戸高専HPコンテンツ	本校における教育研究活動等の状況については、ホームページのほか、刊行物として学校要覧、学校案内、シラバス、募集要項、高専だよりなどがある。これらをホームページ上にも公開しているほか、Youtubeに動画コンテンツを掲載し、広く一般社会に対して情報発信を行っている。	4																
		4-C-1-2	八戸高専Youtubeチャンネル																		
5-A 教育課程の編成と実施	(1) CPIに基づくカリキュラムとなっているか。	5-A-(1)-1	教育プログラム委員会行動計画報告書	CPIに掲げられた構成要素を満足するように体系的にカリキュラムが編成され、くさび型教育が実現されている。また、カリキュラム全体を通して、各DPIに対応した科目が体系的に整備されている	5																
		5-A-(1)-2	教育プログラム計画委員会行動計画報告書																		
		5-A-(1)-3	カリキュラムマップおよびカリキュラムツリー																		
	(2) カリキュラムには、学生、社会のニーズが反映されているか。	5-A-(2)-1	地域志向科目一覧	課題解決型および地域貢献型の人材育成のため、自主探究、創成科目、卒業研究および地域志向科目を導入している。また、今後のカリキュラム改正に向けて、学生・企業・卒業生等からのアンケートを基にニーズを反映する計画である。	4																
		5-A-(2)-2	自主探究テーマ一覧(R3,1-3年)																		
		5-A-(2)-3	自主探究テーマ一覧(R3,4-5年)																		
	(3) 創造力や実践力を育む教育が行われているか。	5-A-(3)-1	学生が創造力を発揮したことによる成果がわかる資料	自主探究・校外実習・創成科目および卒業研究など1年生から5年生まで切れ目のない創造力・実践力を養う取り組みが行われている。新型コロナ感染症拡大のためインターシップの実地での開催は大幅に減少したが、オンライン等に対応している。	5																
		5-A-(3)-2	学生が実践力を発揮したことによる成果がわかる資料																		
		5-A-(3)-3	校外実習 一覧																		
	(4) 異文化を理解する姿勢を育む国際交流活動が行われているか。	5-A-(4)-1	国際交流派遣報告書	シンガポール、モンゴル、中国、フランス、フィンランドなど多様な海外研修プログラムが用意され、学生・教職員が参加している。また国際寮や国際自主探究、タイ政府奨学生受け入れ事業など、さらなる成長が見込まれる特色ある取り組みが行われている。R2,3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い海外派遣、受け入れが中止されているが、オンラインによって国際自主探究活動や、タイ王国プリンセスチュラポーンハイスクールのサマープログラムをオンライン開催した。	5																
	5-B 授業形態・指導法	(1) 学習指導上の工夫が行われているか。	5-B-(1)-1	対話・討論型授業	アクティブラーニングを取り入れた授業(数理解習Ⅰ)やフィールドワーク地域活動を通じた学習活動、ICTを取り入れた授業(情報処理)など工夫された授業が行われている。また、基礎学力不足の学生に対して高学年学生がTAを務める基礎学習セミナーを実施するなど、授業の理解をサポートしている。さらに自主探究活動に全学年をあげて取り組んでおり、1~3年生では自主探究コーディネーターが年間を通じた活動を支援、4,5年生の高学年学生がファシリテーターアワードで学生のサポートを行っている。R3は、自主探究発表会をオンラインで開催し、素晴らしい内容の発表が行われている。	5															
			5-B-(1)-2	フィールド型授業の実施状況																	
			5-B-(1)-3	情報機器を活用した教育の実施状況																	
5-B-(1)-4			基礎学力不足の学生に対する配慮																		
5-B-(1)-5			基礎学力不足の学生に対する配慮																		
5-B-(1)-6			学科横断組織「系」による授業																		
5-B-(1)-7			自主探究の実施状況																		
5-B-(1)-8			自主探究の実施状況																		
5-B-(1)-9			自主探究発表会実施要項																		
(2) CPIに沿って適切なシラバスが作成され、活用されているか。		5-B-(2)-1	シラバスとして必要な項目が記載されていることがわかる資料	シラバスは作成後の点検でカリキュラムの設計に適合するかを点検し、どのDPに適合するかも点検している。シラバスの活用についても教員による説明が行われ、学生の認知度も高いことがアンケートから読み取ることができ、適切である。	5																
		5-B-(2)-2	シラバスの作成要領がわかる資料																		
(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。		5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料	自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4																
		5-B-(3)-2	自学自習リスト																		
	5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																			
5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(1) 学習指導上の工夫が行われているか。	5-B-(1)-1	対話・討論型授業	アクティブラーニングを取り入れた授業(数理解習Ⅰ)やフィールドワーク地域活動を通じた学習活動、ICTを取り入れた授業(情報処理)など工夫された授業が行われている。また、基礎学力不足の学生に対して高学年学生がTAを務める基礎学習セミナーを実施するなど、授業の理解をサポートしている。さらに自主探究活動に全学年をあげて取り組んでおり、1~3年生では自主探究コーディネーターが年間を通じた活動を支援、4,5年生の高学年学生がファシリテーターアワードで学生のサポートを行っている。R3は、自主探究発表会をオンラインで開催し、素晴らしい内容の発表が行われている。	5															
			5-B-(1)-2	フィールド型授業の実施状況																	
			5-B-(1)-3	情報機器を活用した教育の実施状況																	
			5-B-(1)-4	基礎学力不足の学生に対する配慮																	
			5-B-(1)-5	基礎学力不足の学生に対する配慮																	
			5-B-(1)-6	学科横断組織「系」による授業																	
			5-B-(1)-7	自主探究の実施状況																	
			5-B-(1)-8	自主探究の実施状況																	
			5-B-(1)-9	自主探究発表会実施要項																	
			5-B-(2)-1	シラバスとして必要な項目が記載されていることがわかる資料			シラバスは作成後の点検でカリキュラムの設計に適合するかを点検し、どのDPに適合するかも点検している。シラバスの活用についても教員による説明が行われ、学生の認知度も高いことがアンケートから読み取ることができ、適切である。	5													
			5-B-(2)-2	シラバスの作成要領がわかる資料																	
			5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料			自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4													
			5-B-(3)-2	自学自習リスト																	
5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																				
5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(2) CPIに沿って適切なシラバスが作成され、活用されているか。	5-B-(2)-1	シラバスとして必要な項目が記載されていることがわかる資料	アクティブラーニングを取り入れた授業(数理解習Ⅰ)やフィールドワーク地域活動を通じた学習活動、ICTを取り入れた授業(情報処理)など工夫された授業が行われている。また、基礎学力不足の学生に対して高学年学生がTAを務める基礎学習セミナーを実施するなど、授業の理解をサポートしている。さらに自主探究活動に全学年をあげて取り組んでおり、1~3年生では自主探究コーディネーターが年間を通じた活動を支援、4,5年生の高学年学生がファシリテーターアワードで学生のサポートを行っている。R3は、自主探究発表会をオンラインで開催し、素晴らしい内容の発表が行われている。	5															
			5-B-(2)-2	シラバスの作成要領がわかる資料																	
			5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料			自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4													
			5-B-(3)-2	自学自習リスト																	
			5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																	
			5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法			(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。	5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料	自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4										
								5-B-(3)-2	自学自習リスト												
								5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料												
								5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法			(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。	5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料	自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4					
													5-B-(3)-2	自学自習リスト							
													5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料							
													5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法			(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。	5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料	自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4
																		5-B-(3)-2	自学自習リスト		
5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																				
5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。			5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料												自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4		
					5-B-(3)-2	自学自習リスト															
					5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料															
					5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法															
			5-B-(3)-2	自学自習リスト																	
			5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																	
			5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法			(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。			5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料										
								5-B-(3)-2	自学自習リスト												
								5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料												
								5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。	5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料			自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4					
											5-B-(3)-2	自学自習リスト									
											5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料									
											5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。	5-B-(3)-1			シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料			自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4
5-B-(3)-2	自学自習リスト																				
5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																				
5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。												5-B-(3)-1			シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料	自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4		
					5-B-(3)-2	自学自習リスト															
					5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料															
					5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法								(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。			5-B-(3)-1				
			5-B-(3)-2	自学自習リスト																	
			5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																	
			5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法			(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。										5-B-(3)-1				
								5-B-(3)-2	自学自習リスト												
								5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料												
								5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。					5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料	自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。				
											5-B-(3)-2	自学自習リスト									
											5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料									
											5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。		5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料				自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4
5-B-(3)-2	自学自習リスト																				
5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																				
5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。													5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料		自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4		
					5-B-(3)-2	自学自習リスト															
					5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料															
					5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法								(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。	5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料					
			5-B-(3)-2	自学自習リスト																	
			5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																	
			5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法			(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。								5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料					
								5-B-(3)-2	自学自習リスト												
								5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料												
								5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。					5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料	自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。				
											5-B-(3)-2	自学自習リスト									
											5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料									
											5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。		5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料				自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4
5-B-(3)-2	自学自習リスト																				
5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																				
5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。													5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料		自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4		
					5-B-(3)-2	自学自習リスト															
					5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料															
					5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法								(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。	5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料					
			5-B-(3)-2	自学自習リスト																	
			5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																	
			5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法			(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。								5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料					
								5-B-(3)-2	自学自習リスト												
								5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料												
								5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。					5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料	自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。				
											5-B-(3)-2	自学自習リスト									
											5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料									
											5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。		5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料				自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4
5-B-(3)-2	自学自習リスト																				
5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																				
5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。													5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料		自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4		
					5-B-(3)-2	自学自習リスト															
					5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料															
					5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法								(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。	5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料					
			5-B-(3)-2	自学自習リスト																	
			5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																	
			5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法			(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。								5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料					
								5-B-(3)-2	自学自習リスト												
								5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料												
								5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。					5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料	自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。				
											5-B-(3)-2	自学自習リスト									
											5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料									
											5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。		5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料				自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4
5-B-(3)-2	自学自習リスト																				
5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																				
5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。													5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料		自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4		
					5-B-(3)-2	自学自習リスト															
					5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料															
					5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法								(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。	5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料					
			5-B-(3)-2	自学自習リスト																	
			5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																	
			5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法			(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。								5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料					
								5-B-(3)-2	自学自習リスト												
								5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料												
								5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。					5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料	自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。				
											5-B-(3)-2	自学自習リスト									
											5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料									
											5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。		5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料				自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4
5-B-(3)-2	自学自習リスト																				
5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料																				
5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法	(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた取り組みが行われているか。													5-B-(3)-1	シラバスで履修時間45時間の明示がわかる資料		自学自習時間は成績エビデンスに集約され、学校として把握している。その実質化ではCBT調査や成績提出時の自学自習時間の把握などの取り組みが行われている。	4		
					5-B-(3)-2	自学自習リスト															
					5-B-(3)-3	授業外学修の時間の把握状況がわかる資料															
					5. 準学士課程の教育課程・方法	5-B 授業形態・指導法								(3) 学修単位科目の自学自習時間の実質化に向けた							

5-C	成績評価、単位・卒業認定	(1) 成績評価基準、単位認定基準、卒業認定基準の周知が図られているか。	5-C-(1)-1	成績評価や単位認定に関する基準がわかる資料	シラバス、学生便覧、成績通知表にて周知され、CBTアンケートによる認知状況も把握しており、適切に行われている。	5			
			5-C-(1)-2	学生便覧で周知していることがわかる資料					
			5-C-(1)-3	学生CBTアンケート、単位認定部分					
		(2) 成績評価は適切に行われているか。	5-C-(2)-1	成績一覧表がシラバスにもとづいて記載されていることがわかる資料	成績評価はシラバスに基づき行われて適正である。また、答案返却期間・異議申立期間を設定した。	5			
			5-C-(2)-2	シラバスに基づいて評価されていることがわかる資料	年度末の成績確認日に学年総合成績を確認させ、成績や欠課時間に関する異議申し立てできるようにしている。				
			5-C-(2)-3	成績評価結果に関する異議申立の規定がわかる資料					
			5-C-(2)-4	成績判定資料がわかる資料					
		(3) 進級・卒業認定は基準に従って適切に行われているか。	5-C-(3)-1	DPの各項目と卒業認定基準の対応表	DPの6つの基準に対応する卒業認定基準を設定し、根拠資料の通り進級・卒業認定基準が設けられている。また、卒業判定資料(通算修得単位数一覧表)に示す通り、卒業認定基準に従って適切に認定されている。	5			
			5-C-(3)-2	DP1、DP6に対応する卒業認定基準がわかる資料					
			5-C-(3)-3	DP2、DP3に対応する卒業認定基準がわかる資料					
			5-C-(3)-4	DP4に対応する卒業認定基準がわかる資料					
			5-C-(3)-5	DP5に対応する卒業認定基準がわかる資料					
5-C-(3)-6	卒業判定会議において基準に基づき卒業認定していることがわかる資料								
6-A	APIに沿った学生の受け入れ	(1) APIに沿った入学選抜方法となっているか。	6-A-(1)-1	入学募集要項	入学生のアンケートから7割以上の学生が本校の理工系の教育内容[AP2]やものづくり[AP3]、技術を通じた社会貢献[AP4]に興味を持っており、入学者はAPに沿っていると評価できる。また入学者は、入学選抜の方針に沿って決定されている。	4			
			6-A-(1)-2	入学選考基準:推薦・学力・帰国子女					
			6-A-(1)-3	入学選考基準:4年次編入					
			6-A-(1)-4	平成30年度推薦面接試験における留意事項及び質問事項例					
			6-A-(1)-5	推薦面接採点表(記入例)					
			6-A-(1)-6	平成30年度入試選抜資料:推薦					
			6-A-(1)-7	平成30年度入学選抜資料:学力試験成績一覧表					
			6-A-(1)-8	平成30年度入学選抜資料:4年次編入					
		(2) 入学者がAPIに沿っているか、入試方法への反映はなされているか。	6-A-(2)-1	入学選抜委員会規則	アンケート結果から、体験入学に参加して就職や進学の実績等から自分の将来の夢を実現できると考えて入学している学生が多く、また大部分の入学者がものづくりに興味を持っているなど、概ね本校のAPIに適合していることが判断された。このため、従来どおりの入学選抜方法を踏襲していくことになった。	4			
			6-A-(2)-2	入学動機アンケート集計結果					
			6-A-(2)-3	入学選抜委員会(第2回)議事要旨					
		(3) 増募対策は効果的に行われているか。	6-A-(3)-1	入試委員会行動計画報告書	最近の入学数を参考に中学校をランク分けし、中学校訪問・地区入試懇談会・中学校での高校説明会を行っている。また、R3年度は、新型コロナウイルスの影響で本校で開催予定の中学生一日体験入学をオンライン開催に変更せざるを得なかった。参加者数は通常の開催の半数程度にとどまった。しかしながら、参加した中学生からは非常に積極的な質問が多数寄せられた。オンラインオープンキャンパスの様子は、本校ホームページで閲覧出来るようにしている。	4			
6-A-(3)-2	(令和3年度オンラインオープンキャンパス)アンケート回答フォーム								
(4) 入学定員に照らして入学数は適正か。	6-A-(4)-1	学校要覧	直近5年間の平均での定員充足率は104.6%、令和3年度は101.9%であり、適正といえる。	5					
7-A	学習・教育の成果	(1) 成績評価、卒業認定の結果から、DPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。	7-A-(1)-1	単位修得・原級留置の状況	卒業要件からDP1-6を満足できる。DP1は一般科目の修得単位数、DP2-3は専門科目の審議対象科目や必得科目群、DP4は主に自主探究、DP5は地域志向科目、DP6は自主探究・卒研・英語科目の修得から卒業したすべての学生がDPを満足すると判定できる。単位修得・原級留置の状況から、概ね単位を修得し、進級・卒業ができており、教育の成果が認められる。学生の達成度の自己評価からも卒業時に十分達成できたことが認められる。また、今年度、夏学期の成績推移による分析・評価を行い、クラス平均点から十分な学習成果が得られている。	4			
			7-A-(1)-2	令和3年度夏学期の成績推移					
			7-A-(1)-3	令和2年度卒業生の達成度記録簿					
			5-C-(2)-4	成績判定資料がわかる資料					
			5-C-(3)-6	卒業判定会議において基準に基づき卒業認定していることがわかる資料					
			7-A-(1)-4	審議対象科目					
			7-A-(1)-5	必得科目群					
		7-A-(1)-6	地域志向科目						
		(2) 卒業時の学生、卒業後5年程度の卒業生、就職先等の意見聴取の結果から、学習・教育の成果が認められるか。	7-A-(2)-1	卒業時達成度記録簿	卒業生アンケートの結果から、6割以上の学生が本校で学習した内容が現在も役立っていると回答しており、学習・教育の成果が認められる。就職先からの回答も基礎知識や情報処理能力・専門的知識の問いに、6~7割の企業が「高い」「少し高い」と回答しており、学習の成果が認められる。	5			
			1-A-2-7	卒業生・修了生のアンケート結果(2020年度実施)					
			1-A-2-8	企業・団体等のアンケート結果(2020年度実施)					
		(3) 最近5年間の就職率、進学率から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	7-A-(3)-1	就職状況	進学率・就職率は5年100%を堅持しており、学習・教育の成果が表れている。	5			
7-A-(3)-2	進学状況								
(4) 就職先、進学先は養成しようとする人材像に適したものとなっているか。	7-A-(3)-1	就職状況	進学先には理工系大学、就職先には製造業に就職している。これらの就職先や進学先からのアンケートからDPを満足しており、要請する人材像に適していると判断できる。	5					
	7-A-(3)-2	進学状況							
8-A	専攻科教育課程の編成、学習・研究指導、成績・修了認定	(1) CPIに基づくカリキュラムとなっているか。	8-A-1-1	DPごとの科目のカリキュラムマップおよびカリキュラム流れ図	CPIに基づき、授業科目を学年ごとに適切に配置し、体系的に編成している。なお、根拠資料ではDP各項目とCP各項目が1対1で対応しているため、DPで表記している。	5			
			8-A-2-1	DPと授業形態(講義、演習、実験・実習、特別研究)との対応とバランス	総合英語Aではアクティブラーニングを利用した授業や地域課題に取り組む授業(EDや特別研究)を取り入れている。DP別および各授業形態(講義、演習、実験・実習、特別研究)別の単位配分においても適切なバランスがとれている。				
		(2) CPIに照らして講義、演習、実験、実習等のバランスが適切であり、学習指導上の工夫は行われているか。	8-A-2-2	アクティブラーニング活用授業等の例		5			
			8-A-2-3	地域と連携した教育(ED等)の状況					
		(3) CPIに掲げる国際的な発表・討議力、異文化理解を育むための国際交流活動は行われているか。	8-A-3-1	海外派遣者リスト	海外研修を最大6カ月可能としている。令和元年度は約半分の学生が海外研修を経験している。また、特別研究の最終発表では全員が英語発表を行っている。さらに、海外での国際会議での英語発表を推奨している。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度および3年度は長期国費留学生以外の受け入れや海外への派遣は行っていない。	5			
			8-A-3-2	国際交流活動の状況	令和2年度および3年度は、オンラインによる異文化交流や国際自主探究にむけての海外の学生とのオンライン交流を行っている。高学年生においては、将来国際社会でグローバルリーダーとして活動する素養を身につけるため、ファンリター養成講座を行った。				
		(4) CPIに基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。	8-A-4-1	一般科目・専攻共通科目一覧表	DP(CP)の編成方針に基づき、一般および専攻共通科目を設定している。また、特別研究の指導体制を整備し、さらに各種国内外の発表会等を通じて、解決能力育成に努めている。	5			
			8-A-4-2	特別研究・指導教員一覧表					
		(5) 成績評価・単位認定基準および修了認定基準がDPIにしたがって策定され学生に周知されているか。また成績評価・単位認定および修了認定が適切に実施されているか。	8-A-5-1	ガイダンス実施要項	成績評価・単位認定・修了認定基準は所定の単位や英語能力・研究能力を評価しており、DP(CP)に掲げるそれぞれの項目を満足しており、修了認定も専攻科委員会において、別紙資料の通り適切に行われている。	5			
			8-A-5-2	ガイダンス資料(3つのポリシーと専攻科修了要件の部分の抜粋)					
			8-A-5-3	成績評価・単位認定状況がわかる資料					
			8-A-5-4	修了判定会議において基準に基づき修了認定していることがわかる資料					

4.1

適正に学生が受け入れられていると判断します。若年人口が減少傾向にあり、コロナ禍の影響も受けて広報活動が難しい中で適正に志願者を確保することは容易でないと思いますが、志願者を確保するための活動が継続的かつ適正に行われることを期待します。

適正な入学選抜が実施されている。アフターコロナであっても学生募集に関するオンラインの有効な活用を継続的に検討することを望む。

4.6

1-A-1-1、1-A-2-7共通だが、進学者、就職者に対するアンケートカバー率、特に進学後就職者に対するアンケートサンプルは更なる教育の充実のため多く集めるべきと考えます。

高専に相応しい教育が行われ、その成果として進学率・就職率が100%を維持し、修了生が社会で活躍していることを高く評価します。

学修成果の可視化が、教員・学生双方でじゅうぶん可能になっているが、PDCAサイクルを機能させながら、さらなる改善を期待する。

専攻科に相応しい教育が行われていると判断します。定員充足率がさらに高められることを期待します。

専攻科カリキュラムについては、学修成果の可視化が学科レベル程にはなっていないように見受けられる。PDCAサイクルを機能させ、継続的な改善が望まれる。

8. 専攻科の教育活動の状況	8-B	APIに沿った専攻科学生の受入れ	(1) 専攻科APIに沿って適切な入学選抜方法が採用され、実際の学生受入れが適切に実施されているか。	8-B-1-1	入学募集要項	科学技術の重要性や多角的視野を有し、多様な価値観理解に意欲のある学生を受け入れられるようにAPを周知し、推薦と学力選抜において面接等で確認している。また、本科卒業前に専攻科入学予定学生に対する説明会を実施して再度APIについて確認している。その際、学位取得の説明を行っている。	5		4.7						
				8-B-1-2	専攻科進学予定学生の説明会案内										
			(2) APIに沿った入学を受け入れているかどうかを検証する取り組みが行われており、その結果が入学選抜の改善に役立てられているか。	8-B-2-1	自己アピール文	推薦・学力選抜試験の提出書類の一つである「自己アピール文」の記載内容および面接によってAPI(技術の重要性)からAP5(多様な価値観の意欲)を把握している。	5								
				8-B-3-1	入学定員(学則等)	直近5年間の平均での定員充足率は88.6%、令和4年度は85.7%であり、適正といえる。	4								
				8-B-3-2	入学定員(学則等)										
			(3) 実際の入学定員が入学定員に対して適切か。												
	8-C	専攻科の学習・教育の成果	(1) 成績評価・修了認定の結果から判断してDPIに沿った学習・教育研究の成果が認められるか。	8-C-1-1	特別研究論文概要集	年度当初のガイダンスと成績評価資料から必要な単位数の他に、DPを満足するための科目(実験、学外研修、EDなど)の修得を義務付け、これを満たすように指導している。また、修了認定も必要な単位数および、DPIに合致した修得すべき科目を習得した上で修了を認定するようにしている。	4								
				8-C-1-1	研究発表論文一覧(上記資料pp.93-97)										
				8-C-1-2	学会発表等受賞者一覧										
				8-A-5-3	成績評価・単位認定状況がわかる資料										
				8-A-5-4	修了判定会議において基準に基づき修了認定していることがわかる資料										
			(2) 学生、修了生、進路先関係者等からの意見聴取の結果から判断してDPIに沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	8-C-2-1	修了時の達成度評価結果	卒業生アンケートより6割以上の学生が学習内容が現在も役立っていると回答していることから学習・教育の成果が認められる。また、就職先からの回答も専門的知識・技術力の問いに6~7割の企業が「高い」「少し高い」と回答しており、学習の成果が認められる。	5								
1-A-2-7				卒業生・修了生のアンケート結果(2020年度実施)											
1-A-2-8				企業・団体等のアンケート結果(2020年度実施)											
(3) 就職や進学など修了後の進路状況から判断して学習・教育・研究の成果が認められるか。			7-A-3-1	就職状況	進学先には理工系大学院、就職先には各種の公務員や製造業に就職しており、APIに掲げるものづくりに適した人材を輩出しており、要請する人材像に適した進学先・就職先と評価できる。	5									
			7-A-3-2	進学状況											
A. 研究活動の状況			A-A	研究活動の状況	(1) 研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。	A-A-(1)-1	研究活動の目的、方針、目標等の規定(地域テクノセンター規則)	R2年度9月にテクノセンター規則を改正の上明記した。	4	従来、規定になかったコーディネータに関する記述をテクノセンター規則に明記した	4.2	適切に研究活動が行われていると判断します。多くの優れた研究成果があげられていると評価します。教育機関として多様な成果が求められる中で、教員が研究活動に取り組むためのよりよい環境を整えていくために、研究活動状況の問題点の把握や改善に一層の注力が必要かと思えます。「定型的教育」の質と、高専ならではの「研究を通しての教育」の質の担保を両立させるために、成果だけでなく、広い意味での研究活動の状況を点検することも重要だと思えます。(これらの観点から評価を4といたしました。)			
					(2) 研究活動等の目的に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。	A-A-(2)-1	研究実施体制(学校要覧 設置学科・専攻)	本学では1学科4コース制(本科)、1専攻4コース制(専攻科)の下、教育・研究を進めている。	5						
	A-A-(2)-2	研究体制(学校要覧 教員)				一般科目を専任教員23名(教授7、准教授9、助教4、特命准教授2、特命助教1)、専門科目を専任教員43名(教授14、准教授17、講師1、助教10、嘱託教授1)による教育・研究を行っている。									
	A-A-(2)-3	支援体制(学校要覧 研究支援組織)				教育研究支援組織として、総合情報センター(図書館を含む)、地域テクノセンター)地域文化研究センターを含む)、ものづくりセンター、教育研究支援センターがある。このうち、これらの施設が産学官連携共同研究の支援を通じ、地域社会に密着し、産業界に貢献できる工学系高等教育機関としての研究、およびその成果の専門教育への反映に資する。									
	(3) 研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。	A-A-(3)-1			論文・口頭発表一覧(地域テクノセンター報 研究成果)	R2年度実績で、論文等47件、口頭発表93件、外部資金受入54件(内、科研費26件、共同研究6件、受託研究4件、寄附金13件、助成金5件)であった。	5								
		A-A-(3)-2			研究紀要題目一覧(八戸高専紀要第55号2021 目次)										
		A-A-(3)-3			科研費一覧(地域テクノセンター報 科学研究費補助金・学術研究助成金)										
		A-A-(3)-4			外部資金一覧(運営委員会資料 外部資金受入決定状況)										
		A-A-(3)-5			共同研究一覧(地域テクノセンター報 共同研究、受託研究)										
	(4) 研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。	A-A-(4)-1			体制図(地域テクノセンター報 組織)	地域テクノセンターに教育研究部をおき、研究全般の実施状況および問題点の把握、改善に努めている。	4								
		A-A-(4)-2			改善事例(地域連携係よりの受講依頼メール)	公的研究費に係るコンプライアンス研修や研究倫理教育のe-learningを行い、公正な研究活動推進に対する意識向上を図った。									
	B. 地域貢献活動等の状況	B-A			地域貢献活動等の状況	(1) 地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。	B-A-(1)-1	地域貢献活動の目的、方針、目標等の規定(地域テクノセンター規則)	R2年度9月にテクノセンター規則を改正の上明記した。	4			従来、規定になかったコーディネータに関する記述をテクノセンター規則に明記した	4.6	B-A-(4)-1 地域企業との連携事業は目にするにはありますが、反面産学(金)活動は少ないように感じます。 中学生やその保護者、さらには幼児などを対象とした公開講座を多数開講しているほか、出前授業を実施するなど、地域の教育活動に大いに貢献していると評価できる。また、八戸市産学官連携推進会議においては、「八戸地域学」の開講について積極的な御意見をいただき、産学官連携による地域全体での若者の定着に寄与されている。 コロナ禍中においても継続して公開講座等の地域貢献活動が行われており高い満足度を得ていることを評価します。 地域貢献活動が活発にできるような体制整備がなされている。また、地域貢献には教員のみならず、自主探究や卒業研究を通して学生も少なからず貢献していることは高く評価できる。
						(2) 地域貢献活動等の目的に照らして活動が計画的に実施されているか。	B-A-(2)-1	地域貢献活動の方針(地域テクノセンター規則)	地域テクノセンター規則の教育研究活動の基本的な方針の項において、地域貢献活動の基本方針として、以下が定められている。	5					
							B-A-(2)-2	公開講座等実施計画と結果(地域テクノセンター報 公開講座実施状況、公開講座実施計画)	「地域の公的な各種委員会の活動などを通して地域貢献に努めるとともに、地域の教育機関などを対象とした教育サービスの提供に努める」						
							B-A-(2)-3	その他の活動の計画と結果(地域テクノセンター報 地域産業等への技術協力・助言)	公開講座、出前授業並びに企業内容説明会などを開催すると共に、地域産業等への技術協力・助言を多数実施している。						
						(3) 実績や参加者等の満足度等から判断して、目的に沿った活動の成果が認められるか。	B-A-(3)-1	公開講座参加者統計表	公開講座5件(満足度率91%)を始めとして多数の実績がある。 地域への貢献として、「CAD/CAMシステムの基礎と実際」講座を行うと共に、学外講座「サイエンスフェスティバル2019(青森原燃テクノロジージャーナル主催)」「高専の日(根城公民館主催)」などへの参加・支援を行っていた。	5					
							B-A-(3)-2	地域への貢献(R2行動計画取組結果報告書)							
						(4) 地域貢献活動等に関する問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。	B-A-(4)-1	体制図(地域テクノセンター報 組織)	地域テクノセンターに産学交流部を置き、地域貢献活動、産学(金)交流活動、地域企業との連携に対する問題点の把握、改善を図る体制をとっている。	4					

上記の他、本校の教育・研究及び業務運営全般に関するコメント

自主探究のテーマは学生発案の自由で良いのだが、学生が地域社会、とりわけ八戸地域の工業情報や企業の研究課題等に目を向け、地域貢献に誘導していくヒントが与えられれば、地元にとって本校の存在意義が一層高まるものと期待しています。

全国の高校生・高専生がビジネスプランを競う「高校生ビジネスプラン・グランプリ」で、貴校2年生チームが作成した、「あおり藍」の抗菌消臭機能や廃棄されるホタテの貝殻の有効活用に着目した乾燥剤の製造・販売プランがセミファイナリストに選ばれたとのことで、貴校の学生における地域課題発見・解決力の高さや、貴校の教育力の高さを改めて感じたところであり、今後も引き続き、地域社会の発展に寄与する人材の育成に積極的に取り組んでいただければと思います。

コロナ禍の中で、高専に相応しい教育が継続して行われていることを高く評価します。

若年人口が減少する中で、優れた潜在的な能力を有する志願者を確保するための施策が拡充されることを期待します。

教育機関として、また研究機関としても、地域にとどまらず広く社会から期待されている高専の機能を一層高めるためには、教員の一人一人の活動時間を、教育・研究・管理運営・社会貢献にバランスよく配分させることが不可欠だと思います。研究は成果として評価しやすい一方で、教員の研究への取り組みの状況は見えにくく評価しにくい場合もあるのではないかと想像しています。教員の教育負担が適正な状況にあり、個々の教員が独自の研究能力を発揮しやすい環境が整備され、高専らしい、研究を通しての教育が推進されることを期待いたします。

コロナ禍の状況にありながら、校長のリーダーシップのもと、教育・研究、管理・運営等が適正かつ精力的に行われていると判断できる。

コロナ禍の中、中学校の教育現場においても様々な制限の中での教育活動が続いています。理科の授業でも、実験・観察時のグループ活動、ディスカッションが気軽にできない状態の中で、科学の楽しさを感じてもらうことに工夫しながら取り組んでいます。貴校においても全国区で集まってくる学生さんに対して非常にご苦労が多いかと思いますが、これからもよろしくお願いします。